東京外国語大学国際日本研究センター　対照日本語部門主催

『外国語と日本語との対照言語学的研究』

第 32 回 研究会

2021 年 3 月 6 日（土）14:00 ～ 17:50

ZOOM にて≪一般公開、お申し込み必要≫

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ **PROGRAM** ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

14:00 ～ 15:00

発表：**益子 幸江** 氏（東京外国語大学：音声学）

「音声学の活かし方　ー音声教材と音声研究ー」

15:10 ～ 16:10

発表：**黒澤 直俊** 氏（東京外国語大学：ロマンス語学、ポルトガル語学）

「中世語の会話研究は可能か？
「聖杯の探索」の中世ポルトガル語訳（13 世紀）を用いて」

16:20 ～ 17:50

講演：**松本 曜** 氏（国立国語研究所：意味論、認知言語学）

「諸言語における移動経路の表現：共通性と差異」

各言語の話者は、人や物の移動をどのように表現するのだろうか。その表現パターンには興味深い共通性と差異がある。この講演では、国立国語研究所の対照言語学プロジェクトにおいて行われてきたビデオ発話実験の成果に基づいて、その共通性と差異を考察する。具体的に考察するのは、移動経路の表し方である。UP, DOWN, INTO, OUT, TO, FROM, ACROSS, ALONG などの経路の表現にどのような傾向があるかを考察し、今まで行われてきた移動表現の類型論を再考する。また、複数の経路局面を含むルートの表現についても比較を行う。東京外国語大学において行われた研究にも触れる。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆